

# 生徒指導だより

遅刻特別号(第3号)

## ◆二中には慣れてきましたか？



昨日、1年生の心臓検診がありました。検診を待っている1年生に「学校には慣れてきたか？」と聞いてみたところ、「もう慣れた。」という返答でした。正門でみんなの登校を見ていたり、校内で見ていると、まだ制服に包まれている感がありますが、だんだん中学生の表情になってきているように思います。

2年生、3年生もクラブに1年生が入ってきて、より先輩としても自覚が芽生えてきたようです。クラブをしている様々な場面で、1年に声をかけ引っ張っていく姿に頼もしさを感じます。二中は先輩がお手本になり、後輩に示すことで成長してきた学校です。ぜひ、後輩が「あんな先輩になりたい。」

と思ってくれるような中学生になってください。

## ◆ただ、残念なことがある。

34人、19人、19人、32人、12人…

これは何の人数が分かりますか？今週1週間の朝8時25分登校の遅刻者数です。今秋に入って、気も緩んできたのか一気に増えました。平均してざっと1日23人。二中学生は全部で約630人。つまり30人に1人が遅刻。毎日クラスで必ず誰か1人か2人は朝遅刻しているという状況です。「朝からお腹が痛くて、トイレに入っていたらいつもより遅くなった。」という子もいるし、「寝坊した。」という子もいます。理由があって遅れるときは、学校に朝から1本連絡を入れて担任の先生に遅刻する理由と何時ぐらいになりそうかを伝えるようにしましょう。



ただ、遅刻者が言う理由の中で最も多いのは何か分かりますか？「信号？」No！「踏切？」No！

実は「友だちを待っていて遅れた。」というのが一番多い理由です。家は遅刻しない時間に出ているが、友達に来るまで待っていて遅刻した…おうちの方はいつも通りの時間に家を出て行ったからまさか遅刻しているとは思っていない…。学校の登校時間という大切な約束を破ってしまうことで、おうちの方も心配しますが、何よりクラスの仲間があなたを心配するのではないですか？「あれ、●●さんいつも来てるのに、今日は来てないなあ？」と感じているクラスの子は必ずいますよ。もう一度、朝一緒に行こうと約束している友達と、「遅れる時はお互いに連絡をしよう。」であるとか、「待ち合わせ場所に着いてから、100数えて来なければ先に行く。」などのように、もし遅れてしまった時の約束をきちんと決めておいてください。

友達との約束はとても大切です。でも登校時間を守るというのは、二中の仲間同士で守り合う大切な約束です。君たちが社会に出たときに、「遅刻」をすることは、最も人の信頼を失います。「時間を守る」ことが社会で最も優先される約束なのです。残念ながら、始業式から遅刻者がいました(理由なくただ遅れてきたという生徒)。生徒指導をやるようになってから3年目になりますが、残念ながら、遅刻者0はまだ1日も達成されたことがないのです。毎日二中学生の中で誰かが約束を破って、誰かが傷ついていると思うと、これほどつらいことはありません。体調や家庭の事情でどうしても遅れてしまうことはありますが、みんな一人ひとりの心がけで無くすことのできる遅刻はあります。まずはそれを無くしていきましょう。